

議長定例記者会見 会見録

日時：令和3年1月12日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 冒頭の挨拶

2 質疑項目

○選挙区及び定数に関する在り方について

1 冒頭の挨拶

(議長) 新年、明けましておめでとうございます。それでは、定例記者会見を始めさせていただきます。昨年は、皆様方には県議会の行事等にかかる報道につきまして、大変お世話になりました。本年も引き続き、どうかよろしくお願いを申し上げます。

さて、新年を迎えまして、一言申し上げたいと思います。昨年一年間の議会運営は、「新型コロナに明け、新型コロナに暮れた」という印象でございましたけれども、年が明けましても、新型コロナの勢いはとどまるところを知らず、先行きの見えない状況が続いているところでございます。感染されました方々には、お見舞いを申し上げますとともに、1日も早いご回復をお祈り申し上げます。また、お亡くなりになられた方々もでございます。謹んでお悔やみを申し上げます。また、医療関係者をはじめ最前線で新型コロナウイルスへの対応に当たられているすべての方々に、深く敬意を表するところでございます。さて、首都圏におけます、これまでにない感染者の増加を受けまして、国は、今月7日、再びとなる「緊急事態宣言」を1都3県対象に発令をいたしました。本県におきましても、その翌日、8日に新規感染者が急増している状況や、国の方針をふまえて、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けました「三重県指針」ver. 8が発出されましたところでございます。このver. 8をふまえて、県民の皆さんにおかれましては、改めて「新しい生活様式」の徹底をお願いするとともに、今回、「緊急事態宣言」が発出されました1都3県はもとより、感染リスクが高いエリアへの往来を、極力控えていただければと思います。議長として、議会運営に当たりましては、昨年策定した「三重県議会新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」に基づきまして、状況の変化にも的確に対応しつつ、細心の注意を払い、臨みたいと思っております。さて、1月15日から令和3年定例会が開会し、2月17日からは、2月定例会がスタートしますが、ここでは、令和3年度当初予算についての審議が中心になろうかと思っております。令和3年度は、三重とこわか国体・とこわか大会の開

催、太平洋島サミットの開催が予定されております一方で、新型コロナウイルス感染症の影響による税収の減少も懸念されております。このため例年以上に費用対効果を意識した議論、事業の選択と集中といったことが必要となつてこようかと考えられます。全議員が本会議、委員会等を通じ、新年度予算を精査し、活発に議論ができるよう、副議長とともに、しっかりと議会運営に今年も当たっていききたいというふうに思っております。令和3年は、議員任期4年間の、3年目の折り返し点を迎える年になります。全議員でしっかりと、職務に精励したいと考えておりますので、引き続き皆様のご理解とご協力を、何卒よろしくお願いを申し上げます。私からは以上でございますが、今年最初の記者会見でございますので、副議長からも一言お願いをいたしたいというふうに思っています。よろしくお願いいたします。

(副議長) はい。それでは私のほうからご挨拶させていただきたいと思えます。改めまして、新年、明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。議会運営に関しましては、やはり、議長から申し上げましたように、今年、新型コロナウイルス対策に留意した議会運営ということが最大の肝になろうかと思えますが、しっかりと議長を補佐していききたいと思えます。私は、広聴広報会議の座長という立場でございますので、広聴広報について一言申し上げます。広報の取り組みは、「開かれた議会」を推進するうえで、最も重要な役割であると認識しています。県議会だよりや県議会新聞の発行、ホームページやフェイスブックの運営など、きめ細かな情報発信の積み重ねが重要であると思えます。コロナ禍であるからこそ、こういったベーシックな広報の取り組みをしっかりと行っていくことが重要であると思えます。本年も、多くの県民の皆さまが、県議会の活動に関心を持っていただけるよう、広聴広報に取り組んでいききたいと思えますので、記者クラブの皆さまには、変わらずのご協力をよろしくお願いいたします。私からは以上でございます。

2 質疑項目

○選挙区及び定数に関する在り方について

(質問) 幹事社からお尋ねします。全体を通して言えば、コロナであったり、国体、島サミットということになろうかと思えますが、県議会としては、定数と選挙区の議論もあると思うんですが、それについては冒頭では言及されませんでしたので、改めて、今年、思いがあればお願いします。

(議長) はい、すいませんでした。これまでにたびたび記者会見でもお聞きかけさせていただいておりますので、改めて年頭のご挨拶の中に触れさせていただいて

おりませんで申し訳ございませんでしたけれども、もちろんできるだけ早い時期に正副議長案を示すようにということで、代表者会議からも仰せつかっておりますので、副議長とともにしっかりと早く皆さんのご意見を聞かしていただきながら、一度たたき台となる正副議長案を今年の早いうちにお示しをさせていただきたいというふうに思っておりますし、その経過につきましては、もちろん報道の皆さま方にもしっかりと公開できる形で進めていきたいというふうに思っております。しっかりと決めていきたいというふうに思っておりますので、どうぞまたよろしくお願いいたします。

（質問）今、最後におっしゃりました、しっかりと決めていきたいというのは、具体的に年内には、条例改正も含めて終えたいとか、具体的に決めるというタイミングがいつかというのは。

（議長）条例案として出せる時期とか、そういう時期についてはまだ今の時点で見通しが申し上げられることはございませんけれども、決めていきたいという表現をさせていただいたのは、今まで特別委員会なり、過去にも長い間、議論をしていただいてまいりましたけれども、なかなかこの何といいますか、合意できる案というものができてこなかったという経緯も踏まえまして、やっぱりこの議会で今一度決定できるような形を案も含めて、決意を持って作っていかねばならないということを中心として申し上げたところでございます。

（質問）今年のできるだけ早いうちに正副議長案を示したいということですが、今年の早いうちというのはだいたいいつ頃になりますか。

（議長）まだそこまでは申し訳ないですけど申し上げられません。一度各会派なり皆さんのご意見を聞いた後に正副議長案というものを示させていただきたいと思っておりますので、もう少し経過をふまえないと、今ちょっとここで軽々にこの辺りまでにはというところまでは申し上げられません。

（質問）あと、正副議長案の策定にあたっては、もちろん調査会の最終報告もだと思いますが、どのような点が重要になってくる、どういうものを参考に基に作っていきたいというふうにお考えでしょうか。

（議長）まずは、第三者による調査会の報告書を昨年頂戴いたしまして、そしてそこに基本的なこれから定数なり、また選挙区を考えていく上での方向性というものを示していただいておりますので、まずそれに沿って皆さんがどの

ように捉えて考えられるか。併せて、恐らくそれぞれの会派などでどういう定数なり区割り案がいいかということも恐らくお考えもあるんだろうと思っておりますので、調査会の方向性の柱と、そしてそれぞれの会派の皆さんの具体的なお考えがあれば、それを基本に副議長とともに皆さんに合意、全員が合意できるかどうかわかりませんが、議会として合意していただけるようなものをしっかりと考えていきたいと思っております。

(質問) 副議長も同じようにこの定数と選挙区についてどのように進めていくのか、お願いいたします。

(副議長) 議長が今先ほどご説明をいただいたとおりでございますが、我々正副議長として、一人一人の議員の先生方のご理解をいただけるまでにはなかなか難しい状況の中で、しっかりと今年度我々の正副議長の任期の中で、方向性だけしっかりと決めていきたい、このように考えております。

(質問) よろしいですか。これで終わらせていただきます。

(議長) 本年もどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

(以 上) 10時43分 終了